

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	症例毎による麻薬払い出し必要本数の検討
研究責任者	高岡 雄一、 柏原 聖人
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2020年 03月 31日
対象者	2019年 04月の1ヶ月間に当院にて全身麻酔を用いた手術を受けた患者様。
研究の意義・目的	<p>昨今、薬剤師の業務範囲は大きく拡がり、その活動は病院内の多岐にわたっています。手術センターにおいても薬剤師への期待は大きく、医療安全や医薬品適正使用を目的として、薬剤師の参画が必要との認識が広がっています。その背景には、麻薬・筋弛緩薬・麻酔薬等のハイリスク薬が日常的に使用されること、各診療科が個別のルールで医薬品を使用することといった手術センター特有の環境があります。手術における薬剤の管理方法については、繁用される医薬品を定数化している施設もあります。一方、当院では麻薬・筋弛緩薬をはじめ、術中使用医薬品は個人毎にセットし、供給管理を実施しています。患者個別の麻薬・筋弛緩薬セットの管理方法として、前日に薬剤部にて麻薬・筋弛緩薬セットが患者毎に用意され、翌日手術センター担当薬剤師により各手術室へ払い出しされています。しかし、手術当日に事前払い出しされた本数以上の麻薬が使用される際は、担当薬剤師が手術センターの薬品庫より随時払い出しを行っています。今回、患者個別の麻薬セット本数を見直し、臨時での払い出し頻度を減少させる取り組みを行いたいと考えています。</p> <p>そこで本研究では、当院手術センターにおける麻薬使用の現状調査をすることで、症例毎の麻薬払い出しが必要な本数について検討することを目的としています。</p>
研究の方法	<p>対象患者について、手術部記録(CAP-2000)、麻薬払い出し指示表から以下の項目の調査を行います。【患者様氏名、術式、手術時間、手術予定時間、麻薬払い出し数、麻薬使用数、体重、年齢、性別、依頼科名】</p> <p>評価・解析方法として、麻薬使用本数を集計し、術式・手術時間毎に、実際に払い出された本数と必要だった本数を比較し、評価します。</p>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名) 柏原 聖人 TEL: 053-474-2222(代表)